



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第228回演奏会

The New Symphony Orchestra — 228th Concert

指揮：山下 一史

YAMASHITA Kazufumi, conductor



ベルリオーズ 序曲「ローマの謝肉祭」

Hector BERLIOZ (1803-1869): Roman Carnival Overture, Op. 9, 1844

チャイコフスキー バレエ音楽「白鳥の湖」より抜粋

Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY (1840-1893): Excerpts from the Ballet Music "Swan Lake", Op. 20, 1876

サン=サーンス 交響曲第3番「オルガン付き」

Charles Camille Saint-Saëns (1835-1921): Symphony No. 3 in c minor (the Organ Symphony), Op. 78, 1886

オルガン 鈴木 隆太

SUZUKI Ryuta, organ

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

2015年1月25日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演 13:00 開場

Sunday, January 25, 2015, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席：¥3,000 A席：¥2,500 B席：¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット(お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートイマジン03(3235)3777(10:00～18:00日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み：チケットぴあ：0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス：0570(010)296(10:00～19:00休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/>

0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますので、お申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

Design: IMAO Keisuke

今回は、ますます円熟味が増し説得力のあるタクトを振る山下一史を指揮に迎え、ロマンティックな名曲を演奏します。

永遠の名作「白鳥の湖」

ロシアの大作作曲家チャイコフスキーの作品の中でも、最も有名で愛好されているのがバレエ音楽「白鳥の湖」といっても過言ではないでしょう。ドイツの童話を元に作られましたが、「ローエングリン」と同様に白鳥の化身が登場するなどワーグナーの影響を受けていると言われています。

お話は、ジークフリート王子が白鳥の住む湖で美しいオデット姫に会う。姫は悪魔に白鳥の姿に変えられ夜だけ人間の姿に戻るが、呪いを解くにはまだ女性を愛したことの無い男性に愛を誓ってもらう必要がある。王子の婚約者を選ぶ舞踏会にオデット姫を招待するが、だまされて悪魔の娘オディール(黒鳥)を選んでしまう。悪魔を討つも呪いは解けず2人は命を絶つ—という悲劇です。現世で結ばれハッピーエンドという演出もあります。

今日ではバレエの代名詞のような存在となっている「白鳥の湖」ですが、初演は失敗で何回か上演されても評判にならず、お蔵入りになってしまいます。初演から16年後にチャイコフスキーが亡くなってマリンスキー劇場が追悼公演として上演し大成功を収め、世界中で歓迎される人気作品となりました。

作曲者自身が選んで演奏会用組曲を作りましたが、今回は組曲以外の魅力的な曲も加えてたっぷり演奏します。

サン=サーンス～オルガンとシンフォニーの融合

白鳥の登場する音楽で同じくらい有名なのは、サン=サーンスの「白鳥」でしょう。サン=サーンスはフランスの大作作曲家ですが、「白鳥」の登場する「動物の謝肉祭」と同じ年に作曲された交響曲第3番は、彼のもっとも代表的な作品です。

当時フランスでは、舞台音楽は人気があっても交響曲など純器楽曲は重要視されていませんでした。そんな中、サン=サーンスは番号なしのものを含めて5曲の交響曲を書き、古典主義的な作品を残しました。国民音楽協会を設立し、同時代のフランスの作品を演奏する活動をしていましたが、2歳でピアノを弾き3歳で作曲をしたという「神童」であったサン=サーンスは、モーツァルトやベートーヴェンに親しみ、シューマンやワーグナーを紹介するドイツびいきでもありました。

18歳で教会のオルガン奏者の職を得て、その後はパリ最高峰の教会オルガニストとして長年勤めていました。集大成ともいえる交響曲第3番では、大胆にオルガンが使われています。ドイツロマン派のようなカチツとした重厚さの中に、新しい試みやフランス的エスプリも感じられる魅力的な作品です。東京芸術劇場のパイプオルガンの響きとともに楽しみください。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

今後の演奏会予定

<第229回演奏会>

2015年4月19日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 湯浅卓雄

曲目 橋本國彦／交響曲第2番、ショスタコーヴィチ／交響曲第10番 他

<第230回演奏会>

2015年7月26日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎彦太郎

<第231回演奏会>

2015年10月12日(月祝)14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡清高

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979～90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時～9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます。ご利用時間は開演1時間前から終演後30分まで、ご利用料金は～1歳児2,160円、2～6歳児1,080円です。1週間前までにお申込みください。お申込み、お問い合わせ：東京芸術劇場キッズルームミュージズ 電話 03-3981-7003